

	質問内容	担当課	回答（発言者・発言内容）	対応
1	観光施設誘致や獣害対策を「きっちり」進めるには、追加でどれくらいの予算が必要か。 人口減少下でも少人数で稼げる、地域に収益を呼び込む取り組み（第3セクターの強化、企業によるトレッキングコース事業誘致）を町としてどう進めるのか。 町として稼いでいくという姿勢がこれから必要となるのではないか。	産業課	（産業課長）観光面につきましては、確かに大台町を訪れる方はこの自然の景観を求めてお越しいただくことが大半であると思います。その中でも、日帰りのお客様に少しでも大台町へなるべく長期滞在していただけるよう、今後は観光施策を打っていきたいと考えています。 また、獣害につきましては、大台町にはサルの群れが10ほどあると想定しています。このサルの群れを全頭捕獲してしまう方法が、獣害被害を減らす早期の対策としては最も有効ではないかと考えていますが、近隣市町の参考例を伺いますと、1,000万円程度はかかってくるものと産業課として想定しています。 企業誘致については、大台町は平坦地が少なく人材確保も難しいため、企業用地整備や大型工場の誘致は見送らせていただいています。代わりに、小規模な工場・事業者の誘致により、「大台町らしい」企業誘致を進める方針です。 観光分野では、宮川の自然景観や大台地域の熊野古道を生かし、教育委員会で熊野古道の世界遺産登録が可能かどうかの調査を実施しており、その点でも地域おこしを進めているところです。 （町長）第3セクターの現状といたしましては、フォレストピア、道の駅は黒字ですが、宮川物産が赤字となっています。柚子事業がうまくいっておらず、農家への補助金支援を行っているところですが、収益化が難航しています。昨年の補助金の効果により、今年度は持ちこたえる可能性はあります。柚子からレモンへの転換を検討しましたが、苗木発注等の事情により即時の切り替えはできませんでした。レモンのほうが販路の見込みもあることから、今後はレモンへの転換も検討していきたいと考えています。	
2	「観光客を呼ぶ」という目的はなにか。 観光客に町内でお金をつかってもらい、地元企業等の収入増加から税収入が増えるということが狙いなのか？	産業課	（産業課長）観光に力を入れるのは、来訪による消費で経済効果を生むだけでなく、大台町を知ってもらい関係人口を増やすためです。来訪者が町の良さをSNS等で発信することで関係人口が拡大し、最終的に移住につながることを期待しています。	
3	観光の目的は来訪者に消費してもらい税収増につなげることではないのか。ならば、来訪者数より「税収がどれだけ増えたか」を指標として示すべき。観光客増と税収の関係を評価できないと、人数増が目的化してしまう懸念がある。	産業課	（町長）企業の収益構造は人件費等によって変動し、売上や利益の把握は町では調査できません（税務署所管であり、町では把握していません）。具体的な税収増との因果を直接測るのは難しく、来訪者増による消費を通じた間接的な活性化を感じ取るしかないと考えています。	
4	獣害対策補助を10/10に戻してほしい。少なくとも、2分の1補助でも「複数回・別地点」で申請できるようにしてほしい。農地拡大時に未対策区画が負担になるため、支援拡充をしていただけないか。	産業課	（産業課長）令和2～4年度に10/10補助を実施し、約7,000万円を執行しました。財政上の理由と「多くの世帯が電柵等を保有済みである」との判断から、補助率は1/2に戻しています。 令和5～6年度は年間約300万円を支出し、町内で約600万円分の防除設備が導入されています。 限られた財源で広く行き渡るよう、現行は申請を「お一人1回」としています。今後、財政と協議はしますが、当面の拡充（10/10の復活や複数回適用）は難しい見通しです。	
5	町は施設整備とそれをPRしての観光客誘致に偏っている印象。 今はSNS（Instagram、YouTube、X等）で一般の人が選ぶ時代であり、町の情報発信準備や戦略が不足しているのではないか。SNS重視の施策を検討できないか。	産業課	（産業課長）周知の方法として、SNS、いわゆるYouTubeやインスタ、Xなどがどのように活用されているかという点ですが、観光協会や商工会でも活発に情報発信をしています。 SNSは情報を大きく拡散しますので、今後は町としても検討し、戦略的に進めていきたいと考えています。	
6	町主導だけでなく、住民もSNSで日常の出来事や地域資源（例: ホタル、駅伝など）を発信し拡散してはどうか。発信が来訪に繋がる一方で、来訪を収入に結びつける仕組みづくりを町に考えてほしい。	産業課	（副町長）継続的な発信が重要だと考えています。実際にSNS発信で集客の実績もあります（例：ドウダンツツジ、フォレストピアのInstagram登録者が倍増）。 役場としても、保育園担当がInstagramを運用するなど、現在SNS発信を強化中です。今後も観光や子育て支援など、幅広い分野で情報発信を継続していきます。	

7	フォレストピアを拠点に大杉谷登山道への送迎と入浴セットで大台ヶ原登山客を呼び込むんではどうか。 また、獣害対策は、鹿・猪肉の加工流通までつなげて収益化を図ってはどうか。	産業課	(産業課長) フォレストピアでは、大杉谷登山道ではありませんが、からすき谷の子が丸や迷岳の登山コースについて、その山を体験する山岳ツアーなどを組んでいただき、観光客の誘客に努めています。 獣害対策については予算の関係もあるため、今後協議させていただきたいと考えていますので、ご理解いただきたいです。	
8	区で防災資機材を集約する倉庫を今年度建設予定。町からの補助金は1/2であるが、区財政が厳しいため全額補助していただけないか。	総務課	(総務課防災係長) 現行の補助金は、自主防災組織に対して補助率2分の1で活用いただいています。 他の自治会や自主防災組織からのご意見も踏まえ、今後の在り方を検討してまいります。現時点では補助率2分の1での運用についてご理解をお願いします。	
9	避難所運営の際に一定のプライベート空間を保てるような段ボールでの仕切りなどは考えられているのか。	総務課	(総務課防災係長) 災害用備蓄品の中には、ファミリールームや 段ボールベッドなど仕切りのある資機材を配備しています。	